



SDGs って何？



エコマテリアル、アルミニウムができること

SDGsの17の目標のうち、アルミニウムが関わるのはどんなことでしょうか。

例えば、目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、さらに目標12「つくる責任、つかう責任」などが挙げられます。なかでも、ものづくり産業が深く関わるのが目標12です。生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとることを目標に掲げています。

ものづくりにはたくさんの資源やエネルギーを使用しますが、地球のエネルギーや資源には限りがあります。私たちが使っている資源・エネルギーは、地球が作り出せる量の1.5倍に達しているとも言われ、このまま進むと、最終的には資源が枯渇してしまうかもしれません。

この状況を改善するための具体的な方法としては天然資源を効率よく使う、無駄を減らす、廃棄物を減らす、

持続可能な取り組みを促進する、等を行う必要があります。このような努力は、アルミ製品の製造工程で、さまざまなアプローチによって長年続けられてきましたが、特にこれから、アルミニウムが大きく期待されていることが持続可能な取り組みです。アルミニウムはリサイクルによって何度も生まれ変わり、再利用できます。欧米では循環型資源としてアルミニウムに注目が集まり、ペットボトルの代替にアルミ缶を利用する取り組みが積極的に推進されています。軽くて強いアルミニウムは、燃費向上や軽量化の目的で自動車や鉄道などの輸送機器など、幅広い分野で使用されています。これらの分野でアルミ部材のリサイクルが活発に行われており、今後の展開が期待されています。ひとつしかない地球でこれからも暮らしていくために。アルミニウムを利用した持続可能な取り組みが着実に広がっています。

いま地球は貧困や紛争、気候変動や感染症など、これまでになかったような多くの問題に直面しています。このままでは、人々が安心してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そこで、世界中のさまざまな立場の人々が話し合っ、2030年までに取り組むべき17の目標を立てました。

それが「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」です。

リサイクル性に優れたアルミニウムは、軽量で、省エネ効果が大きく、持続可能な社会の実現に貢献することができます。そしていま、その可能性を活かした取り組みを始めています。

みらいのために、
世界みんなが話し合っ、
17の目標を立てたんだよ。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

★ アルミニウムが関わるおもな目標

